

更にそれを上廻つたかときへ見られる程である。

こういう理想に近い大きな規模の生産設備をもち、又、最新の研究設備に囲まれて幾多の新進気鋭の人達が生産に、研究に励まれているのであるから、数々の優秀な成果を生んで来られたことは将に当然の帰結であるとも言へようが、そこには矢張り現在の林業乃至木材利用に対する痛烈な批判精神が底に流れていて始めてこの成果を挙げられて来たのであろうということを見逃す訳には行かないであろう。

先日開所五周年記念式に当り、開放された所内を廻り、数々の研究設備、研究の成果を示す展示品や各種の参考品と、それ等の研究成果を実地に移した工場生産の実況を隅なく見せて頂くことが出来た。そうして木材糖化を中心とする木材化学工業、茸や酵母の研究防腐等に就ての概念を得、更にそれ等が立派に実用化されるようになる時代は夢ではなく、もうほんの間近に迫っているのだということを痛感させられたのである。

繊維板、チップボードや改良木材の前途は我々木材に関係するものゝすべてが等しく関心を持つて注目しているものであり、これの成否は製材、合板工場の将来の運命の鍵を握るものとして考えられているのであるが、同所に於ける生産実況は我々には好箇の参考となるものであり、興味深く拝見した。

こうして今回の所内開放展示はとにかく我々木材に関係している者のみならず、旭川に在住して見学にやつて来た人々にとつても、木材工業の現在の姿を一つの分かり易いモデルで見て全工程を容易に理解して、木材に対する認識を深め、更に、将来の木材産業の在り方に就て今迄は漠然としか考えられていなかったものが、一つの明かな形をとつて心の中に画いてみる事が出来る様になつたのではなからうかと考えられる。

この際、一人でも多くの方が木材産業に就てより多くのこと柄を知り、関心を持つようになつて、近い将

来に実現されるであろう総合森林産業に思を馳せてくれるようになることは歓迎すべきことであり、邦家のためにも慶賀すべきことであつて、これも林業指導所の啓蒙運動の一環として甚だ有益であつたろうと思われる。

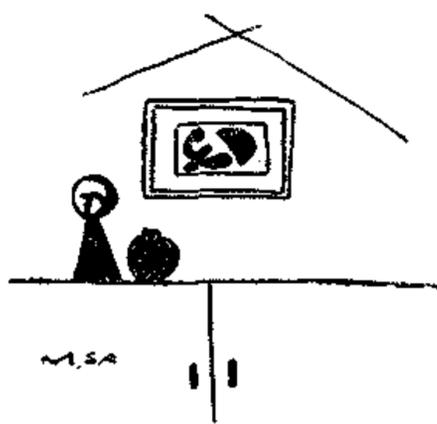
過去五年間に於ける林業指導所の木材界に及ぼした影響の少くないことは前述した通りであるが、同所で発行している「林業指導所月報」は現在まで既に43号を数え、同所の研究発表機関誌として研究成果を広く認識してもらう役に立っている。この指導所月報は昭和28年9月(月報20号)より北海道林産技術普及協会に於てその発行を引受け「木材の研究と普及」(本誌はその24号である)を出している。本誌に盛られる内容としては、製材、合板、繊維板、チップボード、改良木材と工作法、林産物、防腐、木材の性質等に就ての基本的研究データから工場生産に即した実際的な数字にまでおよび、我国のこの種のものの中では珍しい貴重なものとして関心が集り、その反響を全国各地から聞かされるのは喜ばしいことであろう。

五年はかくしてたちまちに過ぎ去つたが、今後の木材産業の進歩は加速的に増大することであろうと思われる。現在行われている林業指導所の研究は続々工業化されることが期待され、又、それを指導して行かなければならない立場にある指導所としては、研究面にも生産面にも開拓者精神をもつて当初の理想の完成に進まれるよう、一方我々としても同所を大いに利用して行くよう心掛けて行きたいと願うものである。

林業指導所に於ける研究とその生産とは一体となつて十分にその機能を發揮して更にその成果を拡充し、林業指導所の我が木材界に占める位置の愈々大きからんことを望むと共に同所の設立及びその後の拡張に与かつて力のあつた各位に感謝の意を捧げる。

(林産技術普及協会会長)

## 木材質を改良した新製品展示会



林業指導所開所5周年記念行事の一つである新製品展示会を、8月23日より26日迄旭川市丸井デパートで開催した。指導所が木材加工業の中心、旭川市の一角にその基礎を

置いてから今年で早や満年を過ぎた。

この間の研究成果を公開し、業務の内容を紹介する事によつて、一般に木材有効利用の方法をより深く認識し且指導所の性格を理解して貰うのがこの展示会の目的であつた。特に最近では木材資源が不足していることは大いに叫ばれているから、この点一般の認識はあると思う。併し具体的に如何なる方法でこれを解決するかという点では案外無関心ではないだろうか？指導所

が木材の利用合理化を目標として、常に努力してきたその成果を一堂に集めて陳列し大衆の木材知識の向上に役立たしめ、将来の木材工業が如何なる方向に進むかという一指针が一人でも多くの人々に理解される様出来るだけ分りやすく展示した。

展示の内容を陳列順に記すると。

1. チップボード

軽量乾式繊維板であるスプリントボード及シェーピングボードの2種

2. モザイクフローリング

改良された寄木床板

3. 木材乾燥

人工乾燥の重要性を表現

4. 集 成 材

主として多方面に利用される状況及強度を表現

5. サニーボード

湿式硬質繊維板の各種

6. サンドウイッチ合板

ロール合板コラゲート合板蜂の巣合板の3種

7. 木材防腐

防腐木材の耐久性を表現

8. シイタケの出来るまで

9. 木材糖化

将来の木材化学工業を表現

10. 製 材

主として薄鋸による歩止りの向上

以上は各研究担当者が夫々の創意工夫を、グラフ、マンガ、模型、サンプル等を用い各々の研究過程、製作順序、試験結果、利用及加工方法等に付多彩に表現し充実した内容を持ったことが本展示会の中心であつた

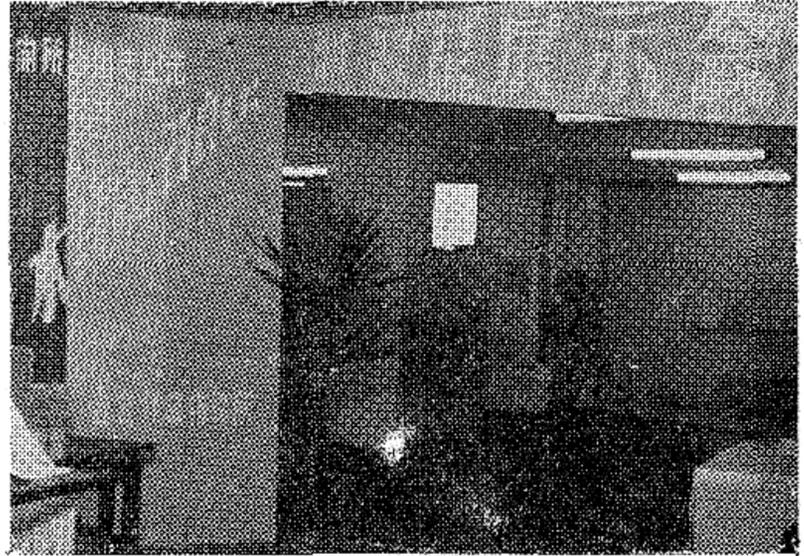
11. モデルルームA及Bは各3坪の面積を使い、上記各種新製品が我々の生活に如何なる形で利用されるかの1つの方法を示した。

12. 現物サンプル台現在指導所で実際に加工されている各種新製品を3尺×6尺の現物大の寸法で陳列した。

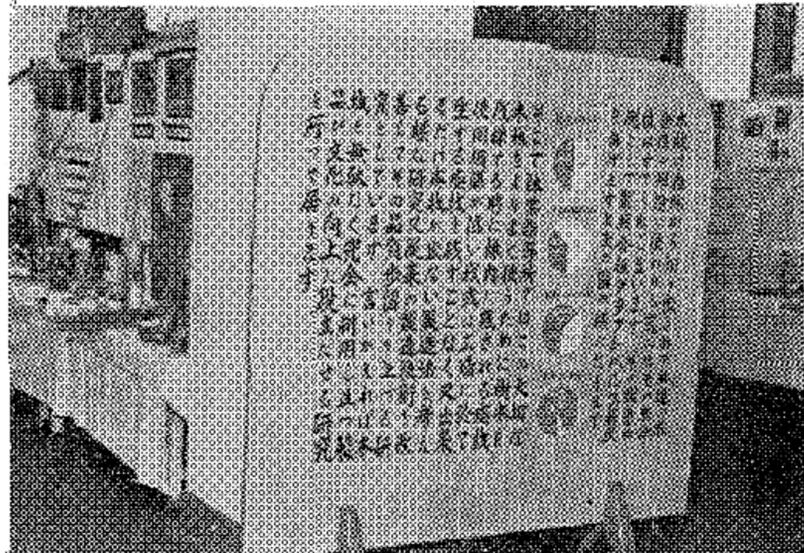
13. 家具製品各種新製品が市内の家具製作者によつて市販の家具類に利用されている状況を示す為に13点の各種家具類を出品して戴き、当所の参考品家具類10点と共に陳列して、会場の雰囲気モデルルームと共に和やかなものとした。

展示会の会期は僅か4日間で、しかも平日のみであつたので、参観者の数が少いと予想されたが、合計約7,500名、中女性が約2,800名、子供670名で1日平均1,800名の参観者があり盛会であつた。又この展示会の目的とする所が参観者に理解され

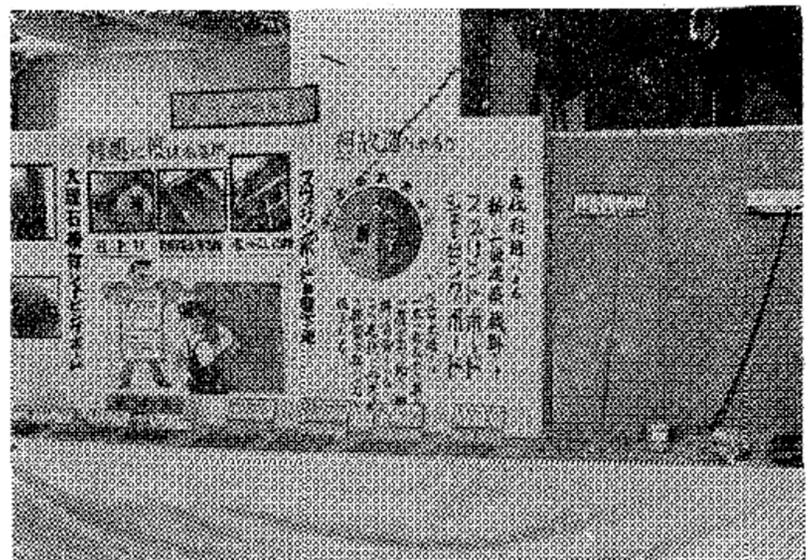
各展示品が一般の共感を呼ぶか否かも大いに注目したのであるが、幸い参観者或は新聞等の批評は非常に好評であつたので、充分所期の成果を上げ得たと自負している次第である。



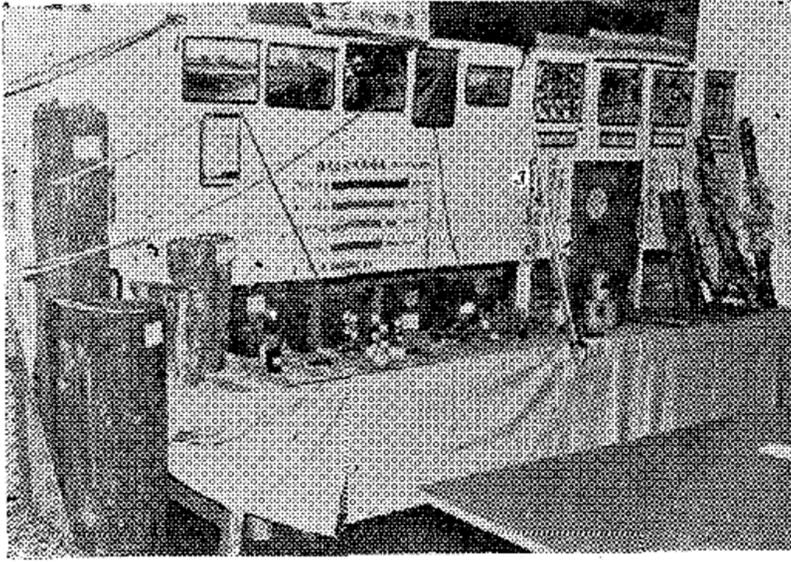
(1、展示会場入口)



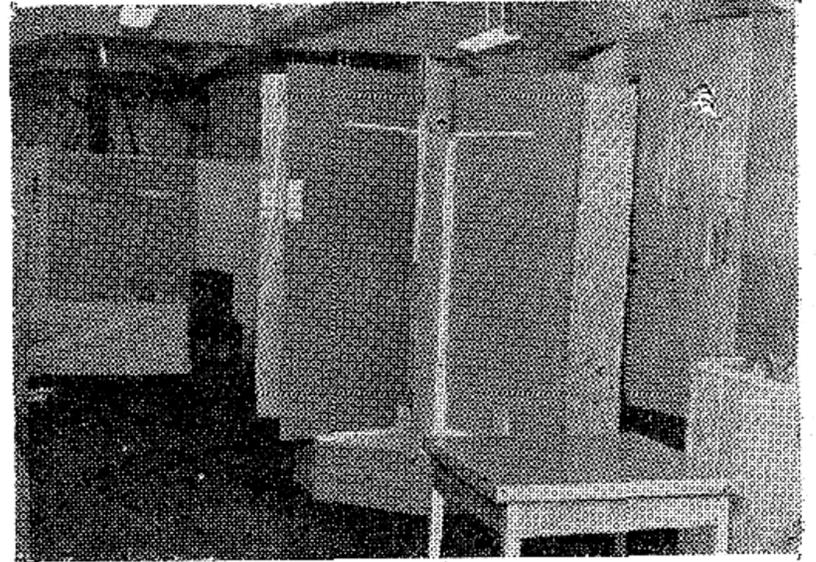
(2、展示会の趣旨)



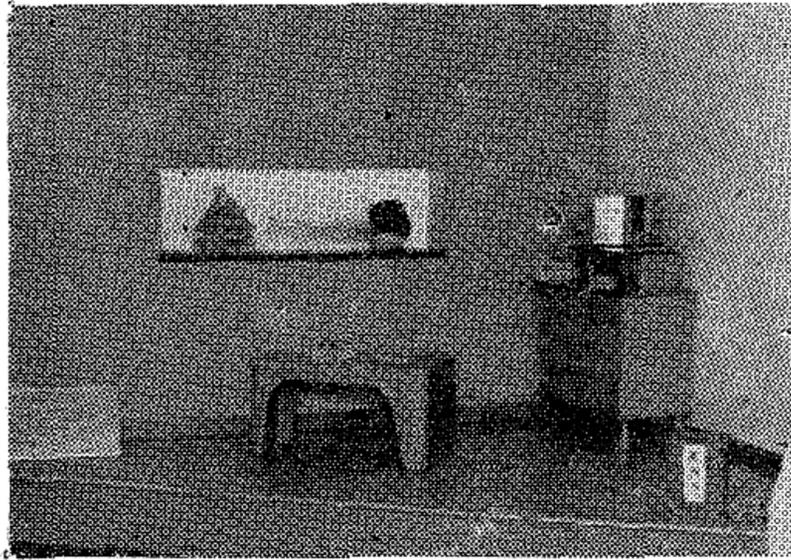
(3、研究品陳列一例)



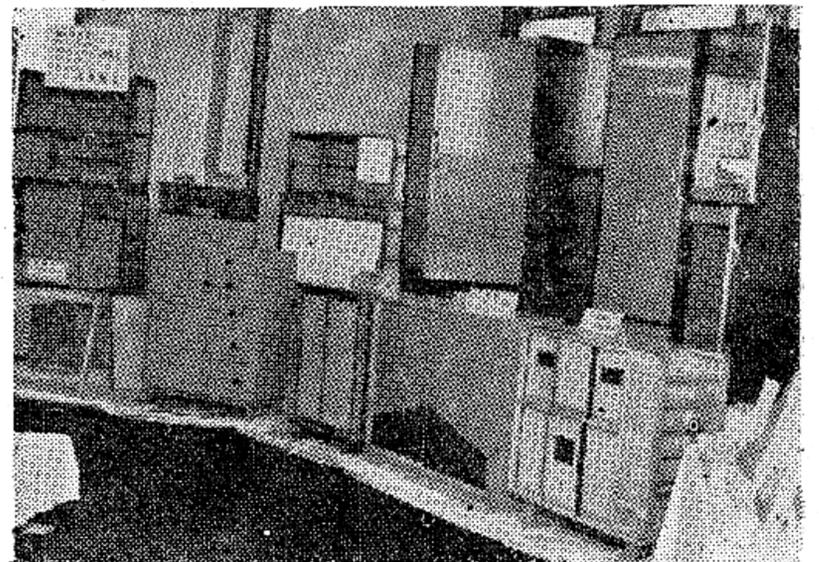
(4、研究品陳列の一例)



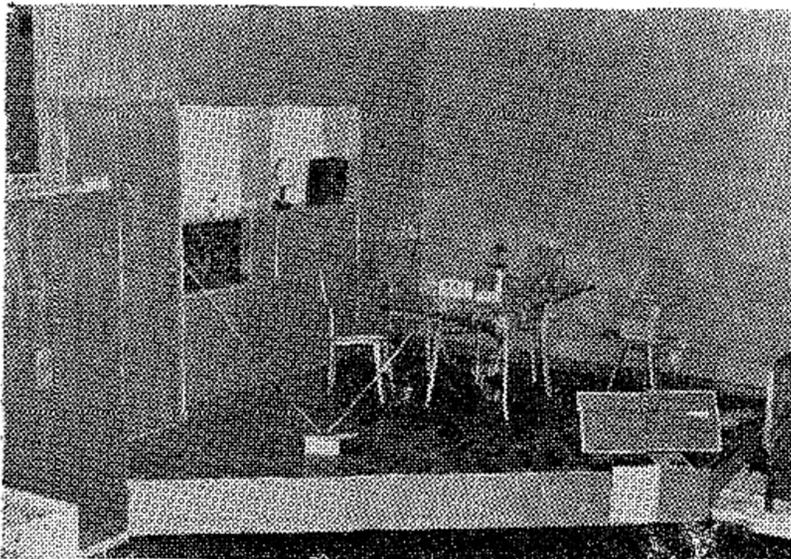
(7、現物サンプル台)



(5、モデルルームA)



(8、業者出品の家具類)



(6、モデルルームB)

## 木材質を改良した新製品展示会

林業指導所開所 5 周年記念行事の一つである新製品展示会を、8 月 23 日より 26 日迄旭川市丸井デパートで開催した。指導所が木材加工業の中心、旭川市の一角にその基礎を置いてから今年で早満年を過ぎた。

この間の研究成果を公開し、業務の内容を紹介する事によって、一般に木材有効利用の方法をより深く認識し且指導所の性格を理解して貰うのがこの展示会の目的であった。特に最近では木材資源が不足していることは大いに叫ばれているから、この点一般の認識はあると思う。併し具体的に如何なる方法でこれを解決するかという点では案外無関心ではないだろうか？指導所

が木材の利用合理化を目標として、常に努力してきたその結果を一堂に集めて陳列し大衆の木材知識の向上に役立たしめ、将来の木材工業が如何なる方向に進むかという指針が一人でも多くの人々に理解される様出来るだけ分かりやすく展示した。

展示の内容を陳列順に記すると。

1. チップボード  
軽量乾式繊維板であるスプリントボード及びシェービングボードの2種
2. モザイクフローリング  
改良された寄木床板
3. 木材乾燥  
人工乾燥の重要性を表現
4. 集成材  
主として多方面に利用される状況及び強度を表現
5. サニーボード  
湿式硬質繊維板の各種
6. サンドウィッチ合板  
ロール合板コラゲート合板蜂の巣合板の3種
7. 木材防腐  
防腐木材の耐久性を表現
8. シイタケの出来るまで
9. 木材糖化  
将来の木材化学工業を表現
10. 製材  
主として薄鋸による歩止りの向上

以上は各研究担当者が夫々の創意工夫を、グラフ、マンガ、模型、サンプル等を用い各々の研究過程、製作順序、試験結果、利用及び加工方法等に付多彩に表現し充実した内容を持ったことが本展示会の中心であった。

11. モデルルーム A 及び B は各 3 坪の面積を使い、上記各種新製品が我々の生活に如何なる形で利用されるかの一つの方法を示した。
12. 現物サンプル台現在指導所で実際に加工されている各種新製品を 3 尺×6 尺の現物大の寸法で陳列した。
13. 家具製品各種新製品が市内の家具製作者によって市販の家具類に利用されている状況を示す為に 13 点の各種家具類を出品して戴き、当所の参考品家具類 10 点と共に陳列して、会場の雰囲気モデルルームと共に和やかなものとした。

展示会の会期は僅か 4 日間で、しかも平日のみであったので、参観者の数が少ないと予想されたが、合計約 7,500 名、中女性が約 2,800 名、子供 670 名で 1 日平均 1,800 名の参観者があり盛会であった。又この展示会の目的とする所が参観者に理解され各展示品が一般の共感を呼ぶか否かも大いに注目したのであるが、幸い参観者或は新聞等の批評は非常に好評であったので、充分所期の成果を上げ得たと自負している次第である。

(1、展示会場入口)

(2、展示会の趣旨)

(3、研究品陳列一例)

(4、研究品陳列の一例)

(5、モデルルーム A)

(6、モデルルーム B)

(7、現物サンプル台)

(8、業者出品の家具類)